

いつも JAL PassAge Corporate Plan をご利用いただきありがとうございます。



〈SAP Concur Fusion Exchange 2018〉に出展しました！

出張・経費管理クラウドシステムの提供で国内トップシェアの(株)コンカーが、9月に主催した「SAP Concur Fusion Exchange 2018」に、オフィシャルスポンサーとして出展いたしました。〈CPS〉(Corporate card PassAge Solutions)は、PassAgeと三菱UFJニコス、Mastercardが提携し展開する、"航空券精算データ"と"カード決済情報"を集約し、経費精算システムに連携し一元管理することができるサービスです。今回のイベントでは〈CPS〉のベネフィットと導入事例についてご紹介いたしました。〈CPS〉を導入することによる企業さまのベネフィットは、「経費データの網羅性」、「最小限のプロセス変更による導入」、「導入後のサポート」であり、これらによって「経費精算システム導入効果の最大化」を実現することができます。また、当日はスタッフ全員お揃いの赤いポロシャツを着用し、CPSのご案内をいたしました。たくさんのお客さまにお越しいただき、CPSのブースは大盛況でした！ 詳細についてはJALのホームページに掲載予定ですので、ぜひご覧ください。

<http://www.jal.co.jp/passage/cps/>



三菱UFJニコス株式会社 白川秀幸
日本航空株式会社 小野信二



CPS 導入事例のご紹介

〈CPS〉を導入していただいた企業さまの事例をご紹介いたします。

企業さまからは、いろいろな場所に散らばっている経費データを経費精算システムに集約できる点、総額ではなく内訳でコストを把握し、「経費の見える化」が実現できる点を評価していただきました。〈CPS〉導入後、出張手配・精算関連業務の工数を4分の1削減できたとのお声をいただいております。

■導入前の課題

- ①航空券費用と出張先での経費の紐づけができない、経費精算業務が煩雑。
- ②総務部門で出張者情報や航空券費用の集計業務があり、負荷が大きい。
- ③紙ベースでの経費精算・報告書作成に時間がかかる。

導入後

出張経費の見える化

業務効率化

利便性向上

★航空券データとカード利用データが隨時連携され、一元管理が可能。

★出張者の精算業務、集計の負担が大幅に軽減。

★航空券代の支払先を一本化。付帯保険の充実により保険料も削減。



CPS データ連携 Q&A

Q どのように社員ひとりひとりに、航空券データは連携されるの？

A 社員番号をもとに連携します。

航空券を発券する際に、付帯情報として「社員番号」を入力していただきます。

経費精算システムに登録された社員番号と一致することで、出張者自身で経費の確認が可能になるため、入力ミスや漏れが減り、労力負担の軽減に繋がります。



株式会社 JAL マイレージバンク PassAge デスク

TEL 03-5796-1170 E-mail passage.info@jal.com

受付時間 9:30 ~ 12:00・13:00 ~ 18:00 (土・日・祝日・年末年始休)

HP <http://www.jal.co.jp/passage>

お問い合わせ